



校舎の改築に伴う、敷地内の樹木への対応について

1 大イチョウなどの樹木への対応について、話し合いました

前回の検討会での意見交換を踏まえ、大イチョウの敷地内での移植や、接ぎ木により引き継いでいくことなどについて、教育委員会からの説明を踏まえた協議を行いました。

また、大イチョウ以外の校庭の樹木についても、可能な限り残置や移植、あるいは接ぎ木等による継承の方策について委員からご提案がありました。敷地内の樹木への対応については、教育委員会と意見交換を継続していくことになりました。



2 高砂小学校の施設のあり方検討会、終了しました

高砂小学校の施設のあり方検討会は、改築及びそれに伴う対応について、一定の結論が市より示されたことを踏まえ、第6回目の本会をもって終了となりました。

本検討会は、令和6年の4月に発足し、高砂小学校の学校施設リフレッシュ基本計画について、学校運営協議会委員等、本校にゆかりのある皆様からご意見をいただきながら、未来の高砂小学校の施設のあり方について、意見交換を進めてまいりました。

検討会では、「共生共創」の基本理念のもと、年齢や立場の異なる検討委員の皆様による活発な意見交換により検討を進めてきました。

新しい高砂小学校の施設のあり方として、「自由度の高い学習施設」や本校のシンボルともいえる「白壁・正門」、校舎内外に残る数多くの卒業制作といった「古きよきもの」を大切にした施設づくりを望む声が共有され、これらの意見を学校の声として教育委員会へ届けてまいりました。

こうした検討を経て、高砂小学校のリフレッシュ基本計画については、令和7年6月の市議会にて策定の報告がなされ、令和8年度より新校舎の整備に向けた準備が本格化していくこととなります。

また、長年にわたり高砂小学校を見守ってきた敷地内の樹木についても、工事に伴い伐採が避けられない樹木がある状況を踏まえ、引き継ぐための方策について検討を進めていくこととなりました。

委員の皆様には、2年間にわたり、本検討会にご参会いただき、誠にありがとうございました。今後は、学校運営協議会等を通じて、新校舎の工事やそれに伴う対応について、教育委員会からの情報提供や、協議を進めてまいります。

3 編集後記

2年間にわたる検討会を通じて、委員の皆様の高砂小学校への思いを、折に触れて感じることができました。本校職員として、高砂小学校の歴史の重みや愛着、そして学校への誇りを改めて実感する機会となりました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

